

vol. 2230

【発行】大分県高等学校教職員組合教宣部 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館  
TEL / (097) 556-2838 FAX / (097) 556-8998 MAIL / ohtwu@view.ocn.ne.jp

# 大分県高教組情報

【発行者】大野 真二 【印刷】佐伯印刷(株) 【売 価】30円(組合員の購読料は組合費の中に含んで徴収しています)



今号の掲載内容 (掲載順)

- 白熱した議論のもと 今後1年間の運動方針を決定  
大分高教組 第112回定期大会 (6月20日(土)) 大分県教育会館201研修室

## 今後1年間の運動方針を決定 大分高教組 第112回定期大会

と き : 6月20日(土) ところ : 大分県教育会館 201 研修室

大分高教組第112回定期大会では、普段私たちが職場で抱えている諸課題が様々な角度から議論されました。特に今回は、新型コロナウイルス対策に関する内容が中心に議論され、各学校の状況が報告され、他校の参考となりました。すべての議案が承認され、2020年度の運動方針が決定されました。限られた時間と人員ではありましたが、様々な意見・提案等が出され、充実した大会となりました。

### 大野執行委員長あいさつ (要旨)

大分高教組第112回定期大会の開催にあたって、執行委員会を代表してごあいさつ申し上げます。コロナウイルスの感染拡大に伴って、2月27日の新型コロナウイルス感染症対策本部の会合で、安倍首相が突然、全国一斉休校を要請しました。以降現在に至るまで、私たちは、過去に経験したことのない学校を経験しています。まず、生徒のいない学校です。これまでも長期休業中には補習などがなければ校舎内に生徒の姿が大きく減っていましたが、それでも体育館やグラウンド、そして専門教室等で部活に励む生徒の姿が見られました。ところが、今回の全国一斉休校では、基本的に部活動も停止したため、入試期間を除いて生徒の姿が全くない学校となりました。そして、再開後も、感染拡大防止を最優先とした学校です。分散登校や密集を避ける方策、換気や消毒の作業、授業における配慮、部活動での感染対策など、数多くのこれまでになかった対応が求められています。過去に経験のない大規模な感染症対策で、政府・県の方針も事態への対応が、めまぐるしく変わっています。日頃事細かに学校現場を指導し、学校独自の裁量を狭めている文科省・教育委員会の指示も混乱し錯綜し、都合よく学校に具体を丸投げしています。そんな中で、長引く休校による授業日数減への不安から、9月入学の声が上がりました。こういう意見が出ることには問題がありませんが、全国知事会が緊急提言で言及し、さらに首相が国会で「前向きに検討」と発言しました。一部の知事が、「大きな変革はこういう緊急事態でなければできない」などと声高に無責任な発言を繰り返し、メディアの報道も一時は賛成が多数などとされていました。幸い拙速な導入は避けられましたし、9月入学については決して否定するものではありませんが、基本的にはコロナ終息後に改めて社会全体で議論すればよい問題です。緊急事態でなければできないという本当の意味での教育の大変革は、9月入学などではなく、少人数学級の実現であり、教職員の勤務実態の改善です。一時期とはいえ9月入学論が広がったように、私たちは、少人数学級の実現と、給特法の廃止や部活動を社会体育へ移行するなどの教職員の超勤対策を広く社会に訴えなければなりません。コロナ関連で、生徒に大きな影響が出ています。経済活動の停滞は、就職希望の生徒の進路にとって大きな障害となり、保護者の収入が減少した家庭の高校生では将来の進路の変更や最悪の場合高校を続けられるかという課題も生じます。また、休校が長期に及んだことから来る大学入試への不安、そして今後予想される第二波第三波の感染拡大など、特に3年生を中心とした高校生の不安解消に私たちは全力でとりくまねばなりません。本来、今年にはコロナウイルスの感染拡大がなければ、改正給特法の学習を深め、上限ガイドラインの徹底や、1年単位の変形労働時間制を安易に導入させないとりくみなど、教職員の超勤縮減に向けて運動を進めなければならない年です。コロナ感染拡大防止が、学校では最優先されることは仕方ありませんが、非常事態であるからといって、超勤が野放しにされてはなりません。すでに、5月の分散登校時に土曜登校が行われたり、市民から

の苦情に端を発して、各学校に生徒の街頭指導が指示されるなどしていますが、超勤に対する裏付けのない管理職の「お願い」などを許してはなりません。教職調整額は、超勤見合いの手当ではないと文部科学大臣が給特法改正の国会審議で明言しているにもかかわらず、「超勤見合いの手当である」と間違った見解を述べた管理職も出ました。私たちは、管理職の誤った見解をただしながら、超勤縮減に向けてとりくまなければなりません。私たちは、理念もなく変えることだけが目的の改憲を目指す安倍政権に、一貫して反対してきました。10万円の給付金を巡る混乱と、決定した後も申請用紙に不要欄を設けるなど、予想した通り、安倍政権はコロナ対応においても、国民の立場から乖離し、不誠実な対策に終始しています。今年の秋以降予想されていた総選挙の時期は、見通しが立たなくなりました。結果的に歴代最長の長期政権を許してしまいましたが、任期満了で退陣したという形をとらず、次期総選挙こそ、長い間ずっと国民に背を向けてきた安倍晋三内閣を、私たち国民の手で打倒した選挙としなければなりません。最後となりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、今年度定期大会は、規模を大幅に縮小しての開催となりました。代議員を最小限に絞り、また例年全分会でやっている大会の議案オルグも支部オルグに置き換えましたが、私たち大分高教組のとりくみの総括と運動方針を決定するための議論は、縮小した大会であっても活発に行わなければなりません。参加された代議員の皆さん真摯な討論を期待して、執行委員会を代表してのあいさつといたします。

## 意見・討論

### 《給食調理員について》

(中津) 中津東定時制の給食は、現在、再任用 1 人、会計年度任用職員 1 人でまかなっている。来年度、再任用者が退職となるので、自校式給食が危ぶまれる。中津には委託できるような民間業者はない。引き続き、自校式給食が行えるよう県に伝えてほしい。

(久大) 日田定時制も、正規の調理員があと数年で定年を迎える。家庭状況の厳しい生徒がいる中、自校式給食の継続をお願いしたい。

(現業) 臼杵支援でも、正規の調理員が年度末急遽退職したため、現在会計年度任用職員 2 人で運営している。

### 《会計年度任用職員に関わって》

(現業) 会計年度任用職員の農務技師は 6 時間 45 分 / 日の勤務となって、業務が回っていない。調理員や介助員も勤務できる日数が限られていて、会議等にも出席できないことから子どもに関する情報共有ができていない。臨時休校中も出勤をした学校の会計年度任用職員は、必要なときに勤務ができなくなる恐れがある。

### 《新型コロナウイルス感染拡大防止対策に関わって》

(宇高) 今年から 10 月より複数応募が可能となったが、就職試験の解禁日が 1 か月繰り下がったことから、初めから複数応募となりかねない。子どもたちの進路保障のため、一人一社制を堅持してほしい。

※その後、高教組からの申し入れにより、複数応募は 11 月から変更されました。

(臼津) コロナ対策について県教委からいろいろな支持が下りてくるたびに議論を行うが、正解がない。学校に行く意味が分からなくなったという子どもも出てきている。9 月入学の件にしろ、将来のための議論が必要。

(久大) 全日の高校総体の日程が決まらないことから、定通体育大会の日程も決まらない。県内の定時制高校の足並みがそろっていない中で、学校間で調整はなされているのか。

(別府) 南石垣支援では 7 月末まで登校させることとなったが、感染症はもちろん熱中症対策など十分に行えるか不安がある。

(宇高) 部活動が超勤の温床となっているが、今回の分散登校で、1 日 6 時間の 40 分授業を行い、部活動までなんとか勤務時間内におさめることができた。このような働き方を押し進めていく運動が必要ではないか。

(佐伯) 就職試験が 1 か月繰り下がったことから、8 月に行ってきた面接指導等、どうするのか検討しているところ。

(大分) 新入生に 1 万円の商品券が配られたが、あれは学校が担うべき業務なのか。事務職員には大きな負担となった。



議長団 左から栗林裕之さん、吉良和秀さん

議事運営委員：左から堀尾里加さん、永松秀隆さん

団結ガンバロウ

## 大会宣言

新型コロナウイルスの感染拡大にともなって、2020年2月27日、安倍首相が全国の小・中・高等学校および特別支援学校に対して突然行った一斉の臨時休業要請は、学校現場を混乱に陥れました。本来なら本年4月からは「働き方改革関連法」のもと、超勤縮減に本腰を入れてとりくむ好機であったものが、「非常時につきやむなし」の気運に流され、「教職員の働き方改革」の後退が懸念されます。

また、政府は、就職試験や大学入試といった子どもや保護者にとって切実な問題への対応を後手に回して、長期化した臨時休業による不安や困惑を増幅させました。一方では、突如として9月入学制の導入を検討したり、子ども一人ひとりへのタブレット端末配備（「GIGAスクールネットワーク構想」）を補正予算化したりと、十分な議論やその教育効果や課題の検証、環境の整備を待たない拙速な動きを強めています。しかし、これらの施策よりも、私たちが長年求めている少人数学級の実現こそが、今後予想されている第二波、第三波の感染拡大や、新たな感染症の流行に対する最も基本的で効果的な対策となり得ます。私たち高教組は、真にゆたかな学びを子どもたちに保障する実効性のある施策を求め全力でとりくんでいきます。

私たちの声かけ、働きかけにより大分高教組に加入する若い教職員は確実に増えています。しかし、若年層教職員の大半は依然未組織のまま、職場や少数職種の教職員の課題を共有する機会が持てない、管理職によるハラスメントにも声をあげない、さらには投票にさえ行かない教職員が出てきています。権力に対して批判的な視点を持たず、主権者たるを自ら放棄している教職員も増えているのが実情です。次世代を担う子どもたちが「健全な批判力」を身につけ、主体的に社会参加をする主権者に育つためには、平和と民主教育を守る高教組へのより多くの教職員の結集を図っていかなくてはなりません。そのためには、組織強化・拡大を組合員が自身の課題として認識し、とりくみをすすめる必要があります。

安倍政権は、黒川検事長にかかわる検察庁改正案の今国会での審議見送り、前法相夫妻の公職選挙法違反による逮捕など、失政が続いています。しかし、立憲主義を踏みにじる断末魔状態の安倍一強政権による強権的な国会運営は続いており、改憲の姿勢も崩してはいません。私たちをとりまく情勢を打ち破り、課題を解決するためには、政治の力が必要不可欠です。憲法改悪を目論む安倍政権に終止符を打つためにも、「社会的対話」によって世論を形成し、今後行われる選挙の必勝にむけ、私たちは総力をあげてとりくみましょう。

以上宣言します。

2020年6月20日 大分県高等学校教職員組合 第112回定期大会

## 子どもの安心・安全とゆたかな学びを守るとともに、 学校現場の「働き方改革」実現にむけての特別決議

2019年12月の給特法改正に伴って法的根拠のある指針となった「勤務時間の上限に関するガイドライン」に基づき、大分県でも4月から「県立学校等の教育職員の在校等時間の上限等に関する方針」が施行され、教員についても「時間外勤務時間」の上限は「月45時間、年間360時間」となった。一方で、2018年度からタイムレコーダー等によって私たちの労働時間が客観的に把握されるようになってきているが、長時間労働の実態は、改善の方向に向かっているものの、解消には程遠いのが現状である。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休校期間中はもちろん、学校再開後も教育活動の時間が厳しく制限された。その結果、教員の時間外勤務を例にとれば、前年に比べ平均で3月は9時間、4月で21時間もの減となっている。私たちの「働き方改革」に向けて改めて考えなおす機会となった。

さらに、新しい生活様式による教育活動の工夫や消毒作業などの感染防止対策に加え、学習進度の保障と今後の非常事態を想定したりモート学習への対応など、新たな業務があたかも「通常業務」かのごとく各学校現場に委ねられている。子どもの安心・安全とゆたかな学びは保障されなければならないが、それは私たち教職員に負担を強いることで実現されるべきものではない。

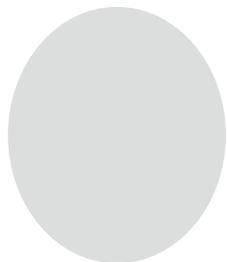
大分高教組は、子どもの安心・安全とゆたかな学びを守るとともに、引き続き、学校現場における真の「働き方改革」実現にむけて全力でとりくむ。

以上決議する。

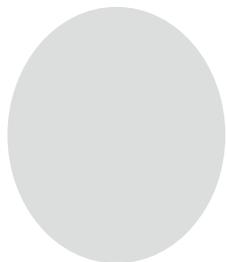
2020年6月20日 大分県高等学校教職員組合 第112回定期大会


**2020年度 支部・単組・専門部の代表者のみなさん**

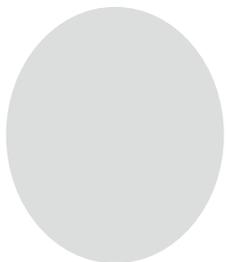

今年度、支部・単組・専門部の代表者のみなさんです。1年間どうぞよろしくお願ひします。



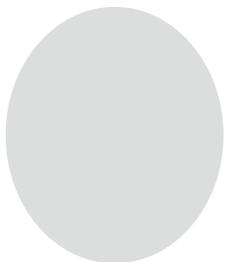
中津支部  
支部長  
**板井 重樹**さん  
中津東分会



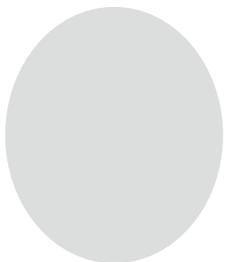
宇高支部  
支部長  
**佐藤 忠夫**さん  
高田分会



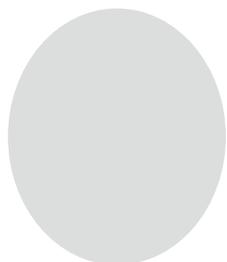
国速杵支部  
支部長  
**吉良 和秀**さん  
日出総合分会



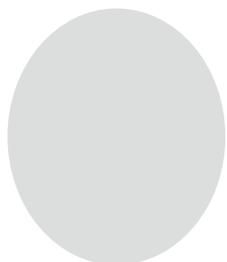
別府支部  
支部長  
**萩原 健太郎**さん  
南石垣支援分会



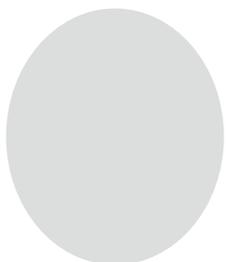
中央支部  
支部長  
**伊達 孝明**さん  
大分上野丘分会



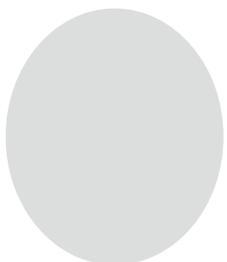
大分支部  
支部長  
**栗林 裕之**さん  
鶴崎工業分会



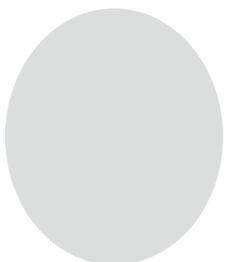
久大支部  
支部長  
**後藤 寛二**さん  
玖珠美山分会



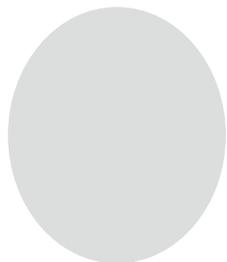
豊肥支部  
支部長  
**福田 洋平**さん  
三重総合分会



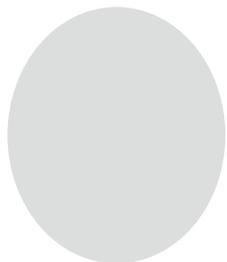
臼津支部  
支部長  
**石川 明德**さん  
臼杵分会



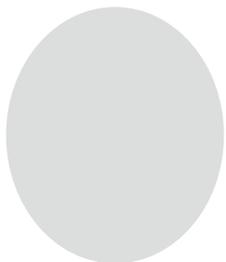
佐伯支部  
支部長  
**深水 彰三**さん  
佐伯豊南分会



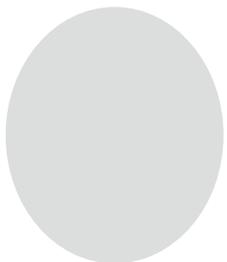
事務職組  
執行委員長  
**永松 秀隆**さん  
中津南分会



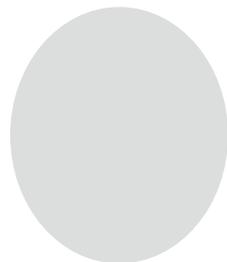
現業職組  
執行委員長  
**堀尾 里加**さん  
日出支援分会



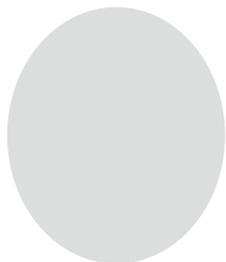
青年部  
部長  
**渡邊 龍也**さん  
佐伯豊南分会



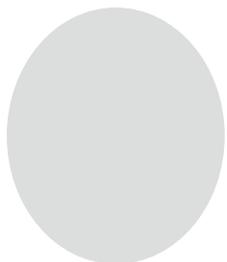
女性部  
部長  
**和田 佐栄**さん  
中津東分会



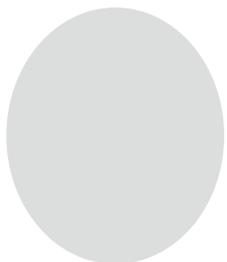
実習教諭部  
部長  
**小川 真紀**さん  
日田三隈分会



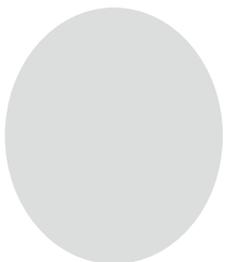
定通分校部  
部長  
**岩本 豊明**さん  
爽風館通信制分会



学校司書部  
部長  
**志賀 祐子**さん  
三重総合分会



障害児学校部  
部長  
**後藤 勲**さん  
もう分会



養護教諭部  
**一井 ひろえ**さん  
日田支援分会